

本市の組織体制

令和4年度

資料5

鳥取県後期高齢者医療広域連合

委託

倉吉市

(長寿社会課)担当課

●企画・調整等を担当する医療専門職(コーディネーター) 1名【保健師】

- ①事業の企画・調整等
- ②地域健康課題の分析・対象者の把握
- ③医療関係団体等との連絡調整

●地域を担当する医療専門職 1名【保健師】

保健指導・訪問指導

(健康推進課)

●地域を担当する医療専門職 6名【保健師・管理栄養士・歯科衛生士】

長寿健診・保健指導・訪問指導

(保険年金課)

国民健康保険との接続

連携

庁外関係団体

鳥取県中部医師会

・取組状況報告、相談等

中部福祉保健局

・取組状況報告、相談等

鳥取県国民健康保険団体連合会

・KDBシステムを利用した健康課題の分析、事業の計画立案
地域包括支援センター

・ケア会議の参加、介護予防教室での連携、相談等

倉吉市社会福祉協議会

・生活支援コーディネーターとの連携・相談

鳥取看護大学

・公衆衛生看護の多角的視点で分析方法等の助言、指導

① 令和4年度個別的支援(ハイリスクアプローチ)取り組み及び内容

取り組み地区：西郷・上井地区 (継続)

⇒令和4年度取り組み(対象)

「高血圧症」(75~80歳)

・昨年度健康診査にて最高(収縮期)血圧150mmHg以上または最低(拡張期)血圧90mmHg以上の人

取り組み理由 KDBによる医療費・患者数上位を占めている。

介護保険利用の原疾患で2位が脳血管疾患。脳血管疾患患者の7割は高血圧症あり。

取り組み区分	目的	訪問計画人数	12月末時点状況	訪問指導の内容	訪問指導から見てきたこと	今後の取り組み
重症化予防 (高血圧症)	高血圧の状態を理解し、生活習慣の改善を目指す	23人	初回訪問 13人 (56.5%) 不在 10人 (43.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関受診状況の確認 家庭血圧測定状況の確認 目標設定 個々が取り組む運動や食事の目標を設定する。 フレイル状態の確認 25問の基本チェックリストの実施 塩分量チェックシートの実施 	<p>・5人(38.5%)が、血圧については未治療だった。</p> <p>他疾患で医療機関は受診している為、適切な治療へつなげるよう主治医との連携が必要。 (保健師から地域のかかりつけ医へ相談予定)</p> <p>・家庭で血圧を測定する習慣がある人は4人(30.8%)と少なかった。血圧計は所持しているが測定していない。習慣化を促す必要がある。</p> <p>・基本チェックリストでのフレイルリスクは問題なし。</p>	2回目の訪問指導 (R5.1から)で改善状況を確認する。

② 令和4年度通いの場等への積極的な関与等 ポピュレーションアプローチ実施状況

取り組み地域	健康状態の把握（基本チェックリスト及び体力測定・運動処方の実施）	健康教育・健康相談	
上井	計画 4サロン 【基本チェックリスト】 実績 5サロン 延べ 80人 （結果） 健康 42人（52.5%） プレフレイル 22人（27.5%） フレイル 16人（20.0%） ⇒半数がフレイルに注意が必要 【体力測定・運動処方】 実績 4サロン 延べ 61人	計画 4サロン 実績 7サロン 回数 20回 延べ202人 （内容） 主にフレイル予防についての指導を行う ・理学療法士の運動指導 ・保健師、歯科衛生士の指導 ・体力測定、フレイルチェック判定及び結果説明 など	○フレイルについての認知度を高めることを目的に教育を実施。 言葉の認知度は高まっていると感じられたが、予防の具体的内容についての周知がさらに必要。 ○基本チェックリストでは、物忘れ、閉じこもり、運動機能低下のチェックが多かった。 ○1サロンを半年後評価したところ、特に片足立ち時間（バランス能力）と歩行能力、握力の維持改善率が高かった。
西郷	計画 6サロン 【基本チェックリスト】 実績 2サロン 延べ 22人 （結果） 健康 13人（59.1%） プレフレイル 6人（27.3%） フレイル 3人（13.6%） ⇒半数がフレイルに注意が必要 【体力測定・運動処方】 実績 2サロン 延べ 22人	計画 6サロン 実績 3サロン 回数 3回 延べ56人 （内容） ・上井地区と同様	今後の予定 ・未実施の3サロンに取り組みを実施する。 ・結果を分析し、効果検証と介入方法を検討する。 課題 ・参加者を増やす取り組み。